



絆

学校便り NO11
令和3年3月25日
奄美市立住用中学校

輝け さわやかに 風は 住用中から

新しいスタートに向けて！

校長 小田 敬介

毎年、新年度の始業式で『目指す生徒像』を意識して生活をしましょう。」という話からスタートします。令和2年度は、

目指す生徒像

好学・・・めあてをもち、進んで学ぶ生徒
自律・・・自ら判断し、行動できる生徒
根性・・・前向きに何事も努力する生徒
協同・・・人の心が分かり、思いやりのある生徒

の四つを生徒像に掲げ、日々の教育活動に取り組んできました。その成果は、学校行事の中で見ることができます。16日に実施した卒業式で、成長した姿を卒業生はもちろんですが、どの学年も披露してくれました。ご臨席を賜りました来賓をはじめ、保護者、地域の皆様、卒業生の門出を見届けてくださり、ありがとうございました。

さて、3月は新たな旅立ちを迎える準備のときでもあります。流通経済大学の渡辺博史先生が、掲げていた「心戒十訓」を紹介します。

心戒十訓

- 1 人を大切にする人は人からも大切にされる
- 2 人間関係は相手の長所と付き合うものだ
- 3 人に何をしてもらえるかよりも自分には何ができるかが大切である
- 4 仕事は言われてするものではなく、捜してするものである
- 5 仕事では頭を使え、人間関係では心を使え
- 6 挨拶はされるものではなく、するものだ
- 7 分かるだけが勉強ではない。できることこそ勉強だ
- 8 どこを出たかではなく、何ができるかだ
- 9 言葉で語るな。心で語れ
- 10 いい人生はいい準備から始まる

どこで生活することになっても、人間関係を築いていかなければなりません。そのヒントになればと思います。紹介させてもらいました。

最後に、新型コロナウイルスの影響で、様々な行事が制限されたなかでしたが、保護者、地域の皆様方のご理解とご支援を頂き、ありがとうございました。これからも、『輝け さわやかに 風は住用中から』のスローガンのもと、地域に根ざした教育活動に取り組んで参ります。

第73回卒業式について



3月16日、来賓や保護者の方に見守られながら卒業式を挙行了しました。4名の新しい門出を祝う温かい式となりました。卒業生を代表し、市田雅さんが答辞を述べました。一部紹介します。

答辞 一部抜粋 卒業生代表 市田 雅

鮮やかな若葉が、奄美らしい春の訪れを告げている今日の良き日に、私たち四名はたくさんの思い出を胸に、それぞれの道へ旅立とうとしています。

先生も私たちも緊張していた入学式。心も体も成長し、ぶかぶかだった制服が今ではしっかり馴染んできました。そんな制服に身を包み、私たちは今日、卒業を迎えました。

中学校最後の合同運動会では、去年できなかったムカデ競争ができたことが思い出に残っています。また、声が出てなくて注意されたこともありましたが、本番に向けてみんなでがんばった放課後練習も楽しい思い出となりました。当日は、天候に恵まれ、とても素晴らしい運動会を行うことができたと思います。

そして、学習発表会。島口を使ったパネルディスカッションに挑戦しましたが、覚えなれないセリフがあり、そのセリフを覚えるのにみんな一生懸命でした。イントネーションを変えたり、英語で言ったりとても大変でしたが、本番は成功だったので良かったです。他にも合唱、三味線、三太郎太鼓など、全てに練習の成果を発揮し、素晴らしい学習発表会ができたと思います。

三年生は何もかもが中学校最後で、少しさびしさも感じながら全ての行事に全力で取り組み、活躍することができました。

在校生のみなさん。私たちは、みなさんと一緒だったからこそ、中学校生活を充実させ、楽しく過ごせたと思います。ありがとうございました。これから先はみなさんが先頭に立ち、住用中を引っ張っていく番です。みなさんならこれまで以上に良い住用中を築いてくれると信じています。「輝け さわやかに 風は 住用中から」のスローガンの基、住用中の良い伝統を受け継ぎつつ、自分たちらしい風を吹かせてください。

そして、私たちがいつもあたたかく、ときには厳しく、たくさんの愛で支えてくれた保護者の皆様。今日まで、本当にありがとうございました。おかげで私たちは、多くのことを学び、経験することができました。感謝の気持ちを忘れることなく、自分の道を力強く歩いていきます。これからも一番のよき理解者として温かく見守ってください。

この先、大きな壁にぶつかることがあるかもしれませんが。そんなときは、中学校生活での思い出と、大切な仲間との絆を糧に、必ず乗り越えていこうと思います。そして、住用中で学んだ全てのことに誇りを持ち、それぞれの夢に向かって、しっかりと歩いていくことを誓い、答辞といたします。

世界自然遺産登録を目指して



【授業の様子】



【啓発マグネットの授与】

世界自然遺産の登録を目指す奄美大島で、環境省はマングースの根絶宣言に向けて徹底的に目撃情報を集めています。その一環として、中学生にも協力を呼びかけることになり、本校で、これまでの取組と現状について特別授業が実施されました。

授業の始めに担当者の方が、アマミノクロウサギやアマミトゲネズミなど外来種の生態を、設置カメラに写った動画で紹介されました。続いて、探査犬や薬の入ったえさを使ってマングースの駆除を進めていることや、駆除が進むにつれてオオトラツグミなど絶滅危惧種の数が回復傾向にあることを、グラフで説明してくださいました。

最後は「奄美大島ほどの面積で、マングースなどの外来生物が駆除されるのは、世界でも初めてのケースになります。固有種を守り、根絶に近づけるためにも見かけたら、ぜひ、電話で連絡してください」と呼びかけられました。

授業後の感想で生徒は「人間が入れた外来種を駆除するのはかわいそうですが、固有種を守るためには仕方がないことなので、もし見かけたら電話したいと思います」と話していました。



【南海日日新聞】



【奄美新聞】

今回の特別授業の様子は、奄美新聞、南海日日新聞、朝日新聞、南日本新聞等に掲載され、NHKでテレビ放映もされました。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kagoshima/20210316/5050013949.html> こちらのサイトでご覧になることができます。

令和3年度教職員人事異動について

今回の定期人事異動により、3名の職員が転出し、1名の職員の転入が決定しています。転出される先生方は、これまで任用中の発展のために、ご尽力くださいました。次の学校でのご活躍を祈念いたします。また、転入職員ともども今後も任用中へのご協力をよろしく申し上げます。

【転出】

小田 敬介 校長 南大隅町立第一佐多中学校
江口 敬弘 教諭 始良市立重富中学校
竹下かゆら 講師 期限満了により退職

【転入】

原 憲正 校長 錦江町立錦江中学校

※ 臨時的任用教諭2名は、後日決定いたします。

離任式は25日(木)に、終業式と合わせて実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、残念ながら本年度も小中合同の送別会は行わず、港での見送りも自粛いたします。

転入される先生方も同様に、合同歓迎会は行いませんのでご了承ください。

令和3年度入学式について

現在のところ令和3年度の入学予定はなく、入学式を実施できない状況です。今後の異動の状況で新1年生の入学がある場合は、入学式を実施いたします。その際、4月5日に準備を行いますので、分かり次第、保護者の方へ学校メールを利用して連絡いたします。ご面倒をおかけしますが、学校メールのご確認をお願いします。



4月の主な行事

- 4/6(火) 新任式・始業式
- 4/8(木) PTA役員会
- 4/9(金) 知能検査
- 4/12(月) 避難訓練
- 4/19(月) 交通安全教室
- 4/27(火) 聖火リレー見学
- 4/29(木) 昭和の日
- 4/30(金) PTA総会・学級PTA

